



撮影日 H24. 3. 19

鯉沢中部小学校だより

せおと

平成24年3月21日 No.14 発行者 校長 岡崎紀子

御支援、御協力、ありがとうございました

「光陰矢の如し」と言われますように、早いもので平成23年度も終わろうとしています。4月に入学した1年生は2年生へ、4年生は5年生へ、5年生は6年生へ、そして、6年生は鯉沢中学校へとそれぞれ進級、進学することになります。この1年間を振り返ってみますと、一人一人が大きく成長しました。身体面の成長、学習面の成長、生活面の成長と、これらの成長を自らがとらえる自己評価は大切なことです。しかし、自分を正しく見ることは難しいものです。そこで、家族と一緒に振り返るようにしてみましょう。より一層客観的に評価することができます。その際、大切なことはプラスの成長を見つけ出すことです。「計算が間違いなくできるようになったね」「忘れ物をしなくなったね」「手伝いをよくしてくれたね」等、その成長を認め、ほめてあげることがさらなる成長につながります。しかし、年度当初に立てた目標が達成されていないこともあることでしょう。そのことについては、これからがんばるように働きかけることが大切です。

また、この1年間にどれくらい多くの方々にお世話になったかを考えることも大切なことです。自分一人の力で今の自分があるのではないことを自覚させ、お世話になった方々への感謝の気持ちを持たせることです。お父さん、お母さんはだれよりもわが子を愛し、病気の時には眠らずに看病したり、わが子の参加する行事や大会にはどんなことがあっても応援に行ったり、行けない時は励ましたりしているのです。とはいえ、大きくなるにしたがって感謝の気持ちはあってもテレモあって表現しにくくなります。そこは親子、お子さんの思いをくみ取ってあげてください。

この1年間、本校の教育活動に力強い御支援と御協力をいただき、改めて厚く御礼申し上げます。来年度もよろしくお願いします。

地域の皆様へ

本校は地域の皆様に支えられた学校であるということを改めて実感した1年でした。運動会、ふれあい集会、プール清掃、リサイクル活動、学校開放日等に来校していただき、様々な御支援御協力をいただきましたことに対して厚く御礼申し上げます。

児童12名と職員だけでは、到底成し遂げられないことも地域の皆様の御協力で盛大に開催することができました。

地域の皆様の御支援御協力は、教育活動を行っていく上での、大きな原動力になっています。地域連携を進めるためには、子どもたちが頑張っている姿を地域の皆様に見ていただくことが一番だと考えています。来年度も御支援御協力をよろしくお願いします。

平成24年度は入学生が0ですので、入学式はありません。児童数の推移表を掲載しますが、本校に転入を希望なさるお子さんを紹介してください。学校はいつでも見学可能です。

学 年	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1 年	4	4	1	2	0	4
2 年	0	4	4	1	2	0
3 年	1	0	4	4	1	2
4 年		1	0	4	4	1
5 年			1	0	4	4
6 年	4			1	0	4
合 計	9	9	10	12	11	15

← 中部区対象児童

6年生を送る会

さんへ

さん もつすべ卒業ですね。目を閉じると、さんとのいろいろな思い出がうかぐことができます。

ころんだとき、「だいじょうぶ」と心配してくれました。いろいろ教えてくれました。ありがとうございます。

ぼくが困っていたり悩んだりしていると、ちゃんひ教えてくれました。

わたしがひとりの時、声をかけてくれました。休み時間、みんなをさそって、いっしょに遊んでくれました。

登校班をまとめたりの注意したりしてくれて、ありがとうございました。

よくないことをした時、注意してくれました。運動会ではリーダーとしてまとめてくれました。給食の時、いつも進んで牛乳を運んでくれました。児童会の仕事で困っていると、アドバイスをしてくれました。

いろいろなお手本を見せてくれました。校名旗を片付けているとき、手伝ってくれました。

がんばるすがたが、とてもすてきで、どんなことにも、いっしょうけんめいに、取り組んで活躍してくれました。

みんなをリードしてくれました。

中学校へ行っても、勉強やスポーツにがんばってください。

わたしたちは、さんを応援しています。

そして、中学校へ行っても、わたしたちのことを忘れないでください。

ありがとうございます。



1. 4年生
合奏「茶色の小びん」 合唱「未来のドア」



5年生
合奏「威風堂々」 「ほたるの光」



6年生
箏とリコーダー合奏「さくら さくら」



宝探しのゴールは、くす玉わり「中部小学校を忘れないでね」のメッセージに感激！

新児童会本部が中心となって企画運営した6年生を送る会を2月29日に行いました。6年生に感謝の気持ちを表すとともに、在校生としての責任を自覚するために学年の発表やゲームを楽しみ、感謝のメッセージを書いた色紙の贈り物をしました。

門出のいざば

(前略)

平成二十三年四月。わたしは、最高学年の六年生になりました。一年生が入学してきて、三年ぶりに入学式ができたことを学校中のみんなが喜んでいました。

六年の担任になったのは、井上信司先生でした。始業式の後、教室にもとると先生は、『六年生は学校の顔』という話をしてくれました。六年生を見ればその学校がわかる。六年生がしっかりしている学校は、いい学校になる。逆に六年生がしっかりしないと、学校全体が一つにならなくなってしまう。六年生というのは、そのくらい重要な学年だという話でした。(中略)

ふり返ってみると、がんばればいろいろなことができるようになるんだと思いました。今までの私からは考えられないくらい、がんばった一年間でした。そして、その一つひとつが私を成長させてくれました。

自分がその気になって努力さえすれば、新しい自分に変われるということを、この鰺沢中部小学校で学びました。

私は、希望を胸にこの鰺沢中部小学校を旅立ちます。六年間で身につけた力と自信と勇気を持って、輝く未来へと旅立ちます。

在校生のみなさん、今まで、本当にありがとう。

みなさんの協力があったから、私もがんばることができました。明日からはみなさんが鰺沢中部小学校の伝統を引き継いでいってください。そして、もっともっとすばらしい学校にしていってください。

今日まであたたく見守ってくださった来賓の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。

ときには厳しく、ときには優しく、私を導いてくださった先生方、深澤さん、柳澤さん、小学校で学んだことを生かして、中学校でもがんばります。今まで、ありがとうございました。

優しくはげまし勇気づけてくれた、お母さん、お父さん、家族のみんな、みなのおかげで、こんなに大きく成長することができました。

本当に、ありがとうございました。これから、志を高く持って、がんばります。



卒業おめでとう

教育委員長

教育厚生常任委員

PTA会長



励ましのことば

お祝いのことば

お祝いのことば



卒業証書 第713号
小学校の課程を卒業したことを証する



おくるのことばを述べる在校生